

News

2015 年 10 月 13 日

博報堂の雑誌『広告』、通算 400 号のお知らせ

博報堂の雑誌『広告』は、昭和 23 年の創刊から数えて 400 号となる 2015 年 11 月号を 10 月 19 日に発売いたします。

雑誌『広告』は、社会や生活者の「いま」をユニークな視点で切り取るコミュニケーション文化の総合誌です。昭和 23（1948）年、『広告』の前身となる『博報堂月報』として創刊以来、広告を広義にとらえ、広告やコミュニケーション文化の創造と発展を目的に、移り変わる時代や社会を深い視点で探り、独自のテーマを見だし、広く社会に対してメッセージを送ってきました。

創刊当時の新聞形式の出版物から、昭和 28（1953）年に雑誌スタイルに形を変え、また、広く広告界全体の討論の場としたいという思いから、タイトルを『広告』に改題。その後、途中 12 年間の休刊等を経て、現在も「広告コミュニケーション文化を発信するメディア」として継続しています。編集長は、創刊当時より博報堂社員が就任し、歴代編集長には、加田三郎、天野祐吉、黒田杏子、嶋浩一郎、永井一史等が務めてきました。

今回、400 号を記念して、半世紀を超える歴史をたどってきた『広告』を振り返る「400 号のあゆみ」WEB を、雑誌『広告』のサイト上にオープンし、今までの表紙デザインや主な記事タイトルを年表形式で掲載しています。（「400 号のあゆみ」WEB のオープンは、10 月 19 日です。）

URL : <http://kohkoku.jp/>

【2015 年 11 月号 : 400 号について】

今回の特集テーマは、『**これからの 母性は**』。女性コピーライターとして活躍中の尾形真理子編集長が、これからの時代、どうすれば女性がもっと、自然に、楽に、生きていけるのか、女性がどうやって日本社会を元気にしていくのか等、これからの女性の在り方を考え、様々な角度からレポートしています。

また今号は、400 号記念で、内容を拡充するために増ページしたことに加え、今号のみの特別定価として 400 円で販売いたします。



今後も、皆さまの『なぜか愛せる雑誌』になれば、幸いです。是非ご一読ください。

【雑誌『広告』400号発売記念トークイベント】

創刊400号を記念して、現編集長でクリエイティブディレクター/コピーライターでもある尾形真理子と、連載も好評な俳優・片桐はいりさんのトークセッションを行います。11月号の特集テーマ「これからの 母性は」にちなんだ話や連載の取材裏話などお楽しみください。

日時：10月21日（水）19:00~20:30

場所：代官山蔦屋書店 1号館 2階 イベントスペース

参加条件：『広告』購入+参加料540円（先着順）

問合せ先：代官山蔦屋書店 tel:03-3770-2525

※ご取材いただける場合は、会場の都合上、博報堂広報室（tel:03-6441-6161）までご一報ください

雑誌「広告」最新号の概要

◆発売情報

2015年11月号（2015年10月19日発行）

特別定価：400円（税込）

A4変型版 116頁

◆最新号内容

〈特集〉これからの 母性は

特集記事

- ・巻頭インタビュー：加藤登紀子
- ・少女マンガのヒーローはどう変わってきたのか？
（鼎談：女性マンガ雑誌3誌編集長、インタビュー：よしながふみ、西 炯子）
- ・すごい女を育てた母たち（吉田沙保里の母、山崎直子の母、蜷川実花の母）
- ・伊丹十三監督が描く女性
- ・「人気エッセイスト3名によるエッセイ： これからの独身女性は」（雨宮まみ、犬山紙子、ブルボンヌ）
- ・「中1からSNSやってました。22歳女子のコミュニティ論」（鈴木謙介、上野千鶴子）
- ・「ボノボに学ぶ女性の役割」
- ・「俺たちが敵わなかった女たち」（田原総一朗、杉 良太郎、ピーコ、火野正平）
- ・「金田一秀穂が語る、言葉を変化させる女たち」

連載記事

- ・わたしの先生 第四回「平野レミの、私の先生」
- ・片桐はいりの愛弟子入ります「海外取材篇」
- ・おし撮りうふふ「東小雪×増原裕子カップル」
※東さんは元タカラジェンヌ。同性で初めて東京ディズニーシーで結婚式を挙げたカップル
- ・朝倉世界ー4コマ

雑誌「広告」に関する問い合わせ：「広告」編集部（博報堂広報室内）03-6441-6091 担当：岩代・和波

取材に関するお問い合わせ：博報堂広報室 03-6441-6161 担当：西尾